

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322069	社会的養護 I Social Care I	阿尾 匡晃			2	選択	2後期
科目の概要							
社会的養護に関する基礎知識、児童養護施設や乳児院等の児童福祉施設の役割について学修する（DP3）。児童虐待やその他の困難に直面する子ども・家族の実態や課題に共感的に理解し、支援のあり方について多角的に考察する力を身につける（DP1・3・4）。さらには要保護児童のみならず、全ての子どもやその家族の権利擁護に範囲を拡大し、支援・援助のあり方について検討する（DP5）。							
学修内容				到達目標			
① 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について学修する ② 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について学修する ③ 社会的養護の制度と実施体系等について学修する ④ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について学修する ⑤ 社会的養護の現状と課題について学修する				① 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解することができる。 ② 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し説明することができる。 ③ 社会的養護の制度や実施体系について理解し説明することができる。 ④ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職について理解し特徴について説明することができる。 ⑤ 社会的養護の現状と課題について理解し解決方法について提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	社会的養護の制度や実施体系、児童の人権擁護や自立支援について興味を持ち、新聞記事やニュース等から最新の情報を調べることができる					
	働きかけ力	グループディスカッションにおいて、活発な意見交換ができるように周囲に働きかけることができる					
	実行力	講義終了後、その日のうちに必ず復習を実施することができる					
考え抜く力	課題発見力	事例について、バックグラウンドや社会的な背景を踏まえて、課題を導き出すことができる					
	計画力	計画的に学修を進めることができる					
	創造力	事例について、バックグラウンドを踏まえて、課題を導き出すことができる					
チームで働く力	発信力	社会的養護における課題について自分の意見をまとめ、ディスカッションできる					
	傾聴力	グループディスカッションにおいて他者の意見をひろく受け入れることができる					
	柔軟性	グループディスカッションにおいて他者の意見をひろく受け入れて、自分の考えを膨らませることができる					
	状況把握力	グループディスカッションにおいて活発な意見交換ができるように自身の役割に気づくことができる					
	規律性	規律性を守り課題を期限までに提出できる					
	ストレスコントロール力	自分の感じ方や考え方の傾向を把握し、自己覚知を深めることができる					
テキスト及び参考文献							
テキスト「社会的養護 I」喜多一憲監修・堀場純矢編集：みらい							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「社会的養護 I」は学科専門科目「保育の本質・目的に関する科目」として設定されており、その後に履修する「社会的養護 II」の基盤となる科目である。 資格との関連：保育士							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 講義中は、講義内容に関係のない私語は慎み、積極的に参加すること 児童福祉関連の文献、新聞記事、ニュース等での情報収集を心がけること 3年次に予定されている「施設実習」を意識して積極的に学ぶこと 				<ul style="list-style-type: none"> 世の中で起こっている様々な事件の中で、子どもに関連する出来事に注目する（具体的には、テレビや新聞のニュースに関心を持って、毎日、見聞きすること） 一人ひとりが自分事として捉え、積極的なグループワーク、発表準備を行うこと 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	社会的養護の制度や実施体系、児童の人権擁護について理解し具体的な施設養護の実際に繋げることができるかについて評価する。S:社会的養護の制度や実施体系、ソーシャルワークの視点について理解し施設養護の具体的な支援について述べることができる。A: 社会的養護の制度や実施体系について理解し施設養護の特徴を述べるができる。B: 社会的養護の制度や実施体系について理解し述べるができる。C: 社会的養護の制度や実施体系について基本的な知識を得ることができる。F:Cのレベルに達していない	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	毎回の講義において重要となる語句の理解を、確認テスト及びリアクションペーパーから評価する。 知識の獲得：社会的養護の基本原則と現状を踏まえた実施体系と各施設の概要・特徴に関する知識（50%） 知識の活用：社会的養護の課題についてソーシャルワークの視点から問題点を明らかにする（30%） 課題解決：社会的養護の現状と課題について理解し解決方法について提案する（20%）
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レポート		20	①	✓	授業の中でのDVD視聴やグループワークにおいて、それぞれの学びや意見、反省等今後の活動に展開できるような記述を評価する。小課題を複数回出題するがテーマは授業中に指示をする。 知識の獲得：DVD視聴等を通して社会的養護の現状について知識を得る（50%） 知識の活用：グループディスカッションを通して自分の考えをまとめ、他者との意見交換から多角的に課題を捉える（30%） 課題解決：事例検討において、バックグラウンドを把握しながら解決しなければならない課題を明らかにし、解決方法を提案する（20%）
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓	子どもの権利について理解し、子どもの権利ノートを作成する。作成に当たっては、子どもの権利についての知識はもちろんのこと、対象となる子どもが置かれている状況や必要な配慮について十分に理解していること。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性)社会的養護の制度や実施体系、児童の人権擁護や自立支援について興味を持ち、新聞記事やニュース等から最新の情報を調べることができる (働きかけ力)グループディスカッションにおいて、活発な意見交換ができるように周囲に働きかけることができる (実行力)講義終了後、その日のうちに必ず復習を実施することができる (課題発見力)事例について、バックグラウンドや社会的な背景を踏まえて、課題を導き出すことができる (計画力)計画的に学修を進めることができる (創造力)事例について、バックグラウンドを踏まえて、課題を導き出すことができる (覚悟力)社会的養護における課題について自分の意見をまとめ、ディスカッションできる (傾聴力)グループディスカッションにおいて他者の意見をひろく受け入れることができる (柔軟性)グループディスカッションにおいて他者の意見をひろく受け入れて、自分の考えを膨らませることができる (状況把握力)グループディスカッションにおいて活発な意見交換ができるように自身の役割に気づくことができる (規律性)規律性を守り課題を期限までに提出できる (ストレスコントロール力)自分の感じ方や考え方の傾向を把握し、自己覚知を深めることができる	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
社会的養護に関する基礎的な知識を習得し、児童虐待やその他の困難に直面する子ども・家族の実態や課題について理解し、さらには支援の在り方について多角的に考察する力が身につけていること	社会的養護に関する基礎的な知識を習得し、施設養護および家庭養護の実施体系についてその特徴を把握していること

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	児童養護の理念と概念 (1) 社会的養護とは何か (2) 社会的養護の原理	・講義 ・ペアワークによる意見交換 ・Googleclassroomにてリアクションペーパー提出	子どもの権利の視点から、「社会的養護とは何か」を理解する。	予習: シラバスを読んでおく 復習: テキスト Chapter 1 を読む	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	社会的養護の現状 (対象となる子どもと家庭、児童虐待) について理解する	・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	社会的養護の対象となる子どもと家庭の現状について理解し、児童虐待の定義を説明できる	予習: テキスト 復習: 児童虐待に関する最新のニュースを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	施設養護について (乳児院とは)	・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	乳児院の目的、対象、支援内容など概要を理解し、説明できる。	予習: テキスト p 77～80を読んでおく 復習: 乳児院に関する最新のニュースを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	施設養護 (児童養護施設とは)	・講義 ・ペアワークによる意見交換 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	児童養護施設の目的、対象、支援内容など概要を理解し、説明できる。また、小規模化が目指される背景と新たな課題について理解する。	予習: テキスト p 87～94を読んでおく 復習: 児童養護施設に関する最新のニュースを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	施設養護 (児童心理治療施設とは)	・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	児童心理治療施設の目的、対象、支援内容など概要を理解し、説明できる。	予習: テキスト p 96～100を読んでおく 復習: DVD視聴を通して学んだことや考えたことをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	施設養護 (児童自立支援施設・自立援助ホームとは)	・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	児童自立支援施設、自立援助ホームについて、目的、対象、支援内容など概要を理解し、説明できる。	予習: テキスト p 101～110を読んでおく 復習: DVD視聴を通して学んだことや考えたことをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	施設養護 (母子生活支援施設、DVとは)、社会的養護に関わる専門機関	・講義 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	母子生活支援施設の目的、対象、支援内容など概要を理解し、説明できる。社会的養護にどのような専門機関が、どのように連携を図っているのかについて理解する。また、その必要性について自分なりの考えを述べる。	予習: テキスト p 81～86、156～159を読んでおく 復習: 住んでいる地域にある社会的養護に関わる施設及び専門機関について調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	家庭養護 (里親とは)	・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	里親の類型、役割、現状について理解する。	予習: テキスト 119～125を読んでおく 復習: DVD視聴を通して学んだことや考えたことをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家庭養護（ファミリーホーム）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	ファミリーホームの位置づけや養育の特徴を理解する。	予習：テキストp125～131を読んでおく 復習：施設養護と家庭養護の違いについて理解したことをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	障害児に関わる施設について（障害児入所施設、児童発達支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	障害児に関わる施設の種類、対象、利用方法など概要を理解し、説明できる。「療育」の意味について理解し、「発達支援」「地域支援」「家族支援」の必要性について理解できる。	予習：テキストp133～145を読んでおく 復習：障害児に関わる施設の概要と特徴について理解したことをまとめる	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	社会的養護に関わる専門職と職業倫理について	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ペアワークによる意見交換 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	保育士倫理綱領および全国児童養護施設協議会が定める倫理綱領を理解する。自己覚知の重要性について理解し、自己理解を深める。	予習：保育士倫理綱領を調べておく 復習：施設職員の専門性についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	社会的養護とケースワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ペアワークによる意見交換 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	ケースワークの展開過程、バイステックの原則を理解できる	予習：テキストP174～175を読んでおく 復習：バイステックの原則について具体的な事例を想定して理解する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	社会的養護の事例を検討する	1～12回の講義で得た知識を踏まえて、グループでの事例検討を行う。	事例において課題となっている事は何かをソーシャルワークの視点から捉え、課題解決に向けてディスカッションができる。	予習：社会的養護の施設や専門機関、ケースワークの展開を確認する 復習：関連するニュースを調べ自分なりに検討する	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	子どもの権利	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド講義 ・Google Chromeにアップされるオンデマンド講義資料をよく読み、権利ノートを作成する。 	子どもの権利について理解し、子どもが理解できる言葉、表現で説明することができる	予習：子どもの権利について調べる 復習：ユニセフのHPを参考にして子どもが理解しやすい表現を考える	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
15	社会的養護のこれまでのあゆみと今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにおけるリアクションペーパーの提出 	社会的養護に関する歴史を踏まえて、目指すべき今後の方向性について理解する	予習：テキストP30～40を読んでおく 復習：これまでの学習を振り返りまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力